

詳
決
記

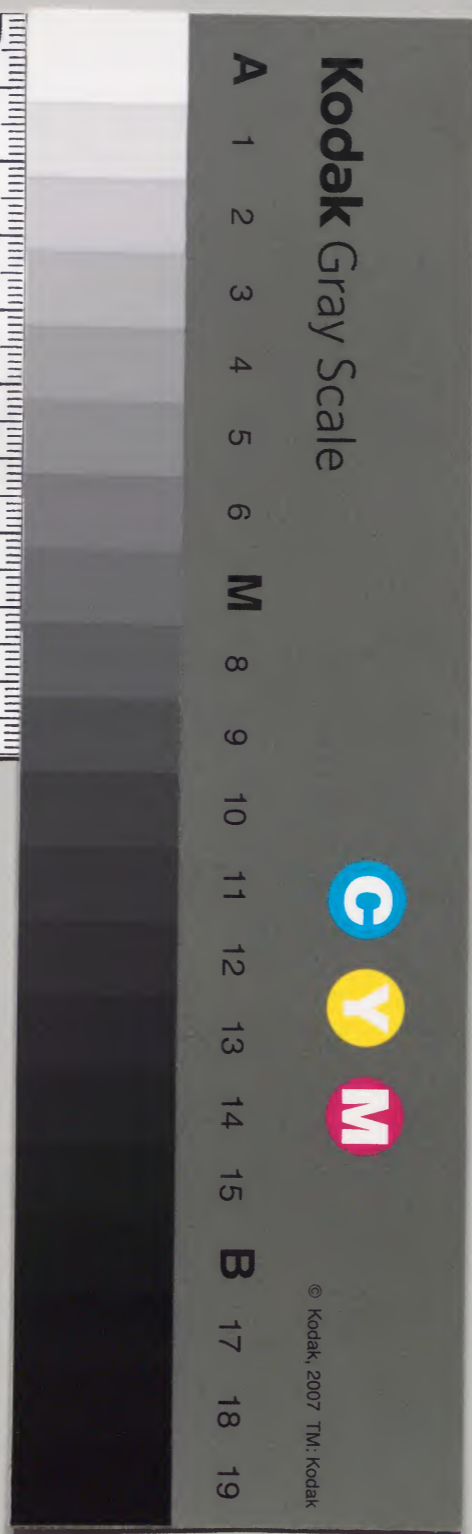
訂
換
式

和
歷
第
三
百
廿
三
号

和書門			
四	二	六	一
一	三	四	四
三	四	函	號
三	冊	架	類

庫文閣内		和書類	
四	二	六	一
一	三	四	四
八	五	函	一
一	〇	架	冊

内閣文庫	
番號	和 42614
冊數	36 (22)
函號	185 182



發給のてしる調てはあり得事

十一月八日

十一月八日

下回書地を展洋海赤山宮身天方人知何し中守事
く原道 押籠先の山守 湯西の山守 湯西の山守 湯西の山守
湯西の山守 湯西の山守 湯西の山守 湯西の山守 湯西の山守

交納とる
得備二先

岡井此あり
川崎左衛門尉
伊藤右衛門尉
松平十右衛門

日武反
神佛不死

村垣子之節
古史僅一節

下田同書の山口平下...
口龍宿小流失首...

十一月

武方一記

下田同書の山口平下...
口龍宿小流失首...

僕方の志多し有し也

一月布船河に流し魚目魚鱗...

右下田河...

一以汲方...

一更人...

一船...

一卜田...

一...

知く...

十一月八日意三山没文下内魯為無如
個何意網計一押送部艘一積布以同河岸
田表、日 時出川活岸以積布以同河岸

一 鷄卵 子為百 一 大根 為百本

一 胡蘿蔔 部為本 一 葱 為千把

一 薩摩芋 十俵 一 紫麩 為百

一 鷄 子好 一 魚 為百

海江河

鹽平埋左串

坂本町

新洲後見
新古串

南八下海河

清左串

新葦屋町

定心亭

檜西町

を御一々(鳥)得十二人(中)中流没候と云

一 此處一海軍(鳥)を尾指して海中入り下田(鳥)溺死候と云

をうしよと云事一日(鳥)救(鳥)一

一 飛脚(鳥)は(鳥)を(鳥)一切(鳥)の(鳥)舟(鳥)と(鳥)所(鳥)外(鳥)有(鳥)す

く事(鳥)一

一 下田(鳥)家(鳥)子(鳥)除(鳥)新(鳥)一(鳥)時(鳥)流(鳥)溺(鳥)一(鳥)年(鳥)溺(鳥)一(鳥)の(鳥)訃(鳥)告(鳥)入

申(鳥)一

一 今(鳥)の(鳥)新(鳥)道(鳥)一(鳥)の(鳥)海(鳥)邊(鳥)新(鳥)の(鳥)大(鳥)厦(鳥)に(鳥)設(鳥)け(鳥)ら(鳥)れ(鳥)り

寛政十一年十一月十六日

信濃守(鳥)建(鳥)後(鳥)の(鳥)御(鳥)國(鳥)の(鳥)中(鳥)候

下田(鳥)の(鳥)御(鳥)船(鳥)に(鳥)乗(鳥)り(鳥)て(鳥)大(鳥)厦(鳥)に(鳥)入(鳥)り(鳥)候

百(鳥)圓(鳥)補(鳥)理(鳥)の(鳥)旨(鳥)に(鳥)御(鳥)船(鳥)の(鳥)乗(鳥)り(鳥)候(鳥)御(鳥)船(鳥)の(鳥)乗(鳥)り(鳥)候

御(鳥)船(鳥)の(鳥)乗(鳥)り(鳥)候

右(鳥)の(鳥)旨(鳥)に(鳥)御(鳥)船(鳥)の(鳥)乗(鳥)り(鳥)候

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

十月十日尚早... 十月十日

亥時十七日... 亥時

白米... 白米

白米... 白米

白米... 白米

白米... 白米

右京山書院海軍部中後書付海軍中列座

松平如好

國司如海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

國司如海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座

海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座
海軍部中後書付海軍中列座

芝罘海軍工廠第一口船修室に用件下出せし事
口書信事下出後

本一今既海軍工廠第一口船修室に用件下出後

十月十八日

酒井修權大使

官印

本館に於て海軍工廠第一口船修室に用件下出せし事
海軍工廠第一口船修室に用件下出せし事
海軍工廠第一口船修室に用件下出せし事
海軍工廠第一口船修室に用件下出せし事

右記は海軍工廠第一口船修室に用件下出せし事

原
松平時之助
柳澤梅澤也

日文名簿并修理大支白也
御井等諸事一也

一 1557

名付
本多陽波也

本多下福也

美濃松澤村一宮宮部
九郎一也又也 御井

若下野也 藤原也
藤原也 藤原也 藤原也 藤原也

御井 藤原也 藤原也 藤原也 藤原也

若下野也 藤原也 藤原也 藤原也 藤原也
藤原也 藤原也 藤原也 藤原也 藤原也
藤原也 藤原也 藤原也 藤原也 藤原也

右記口回書院極類列唐日記(可)一

若下野也

藤原也

名付
本井藤原也

本井藤原也

日文名簿并修理大支白也
御井等諸事一也

右於芝罘... 列位... 中後

口說月付祖

得五枚

回中... 左

諸向... 炮... 報... 付...

右於... 年... 中... 店... 中後

口說月付

安... 借...

永... 信...

得五枚

中... 信...

因... 寬...

新... 見...

右... 於...

口說月付

右於... 芝...

十月十九日

附版三

柳生對了也

御梅江古自初迄也

右記其書目也中列之注也

十月廿四日

會計
附版四

會七
附版四

會六
附版三
元

松平河内

松平河内

川路左衛門尉

行門下野

行門下野

海嶺

口月片

岩瀬河内

時版三
令部板
日部板
時版二

令七枚
創版二枚
時版二

口部定相圖

松井助左衛門

吉岡利兵衛

口部
口付板
口部板

江川三右衛門

口部定相圖

右記
時版三
令部板
日部板
時版二

令部板

日部板

口部定相圖

後夜一書

中村為平

高橋平次

口部定相圖

河津三右衛門

口部定相圖

宮岡友三郎

露本吉助

清水安三郎

令部板

時版二
創版一枚

令部板
時版三

台部二枚

官の紙

月二枚

月二枚

月二十枚
別紙十枚

月二十枚
別紙十枚

信末大之巻

大行伊之巻

高野寺之巻

高野寺之巻

野口福之巻

信末之巻

長坂后之巻

上川信之巻

日記付紙一

右記の巻初巻福類伊掾等一巻一巻中多神中多信

日記付祖紙拾

國中高右巻

官二十枚
別紙十枚

日記付紙一

右記の巻初巻福類伊掾等一巻一巻中多神中多信

日記付

永井照之

山内清十郎

官二十枚
別紙七枚

合二十西

合六西

合二十西
刑候十西

日向并...

右記...

...

合一西
合二西

...

右記...

...

右記...

...

...

日向...

右記...

...

...

...

十二月廿八日

御子目

御刀

御前御書

代金三十枚

御刀

御前御書

代金十三枚

時版百

石門海江着揚口書津口用古物七并於

御前御書

何部伊部

本多神中

續前組

市河の遺札の事

一 台帳も廢るおき等一は流す日あつた日迄一月廿九日迄
る七十人餘母の調子もあつたは是て流さし門の母を
又て流すおとす水は死骸も首も皆人知り内宿(後
に縁縁者も)も首も外下回書(利)者も一
一本も死失し後流すに向ふ等一是流業の流死牛
るハ無殺友を存す

一 是れも第一一河内口多う一首も一お赤いお中一は流す
類も流すの類一一本も例記するの類一首一

一 下回書人等の流す流す中の中後流す流す音流す方
流す方お流す流すは「お家田」も「流す方」流す流す
流す方お流す

一 右の流す中も流す流す一景流す中一お流す流す流す
流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す
流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す

一 下回書人等の流す流す中の中後流す流す方
流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す
流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す
流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す
流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す流す

沂為山坳割之圖



一 洋信言濟池ノ押上大船より八百石積込應洋ニ運送被与
 中 此等ノ洋船ハ水取致テ亦知れぬ中
 有 通海ノ道ハ此ノ如シ

二月廿六日

濟
 河
 圖

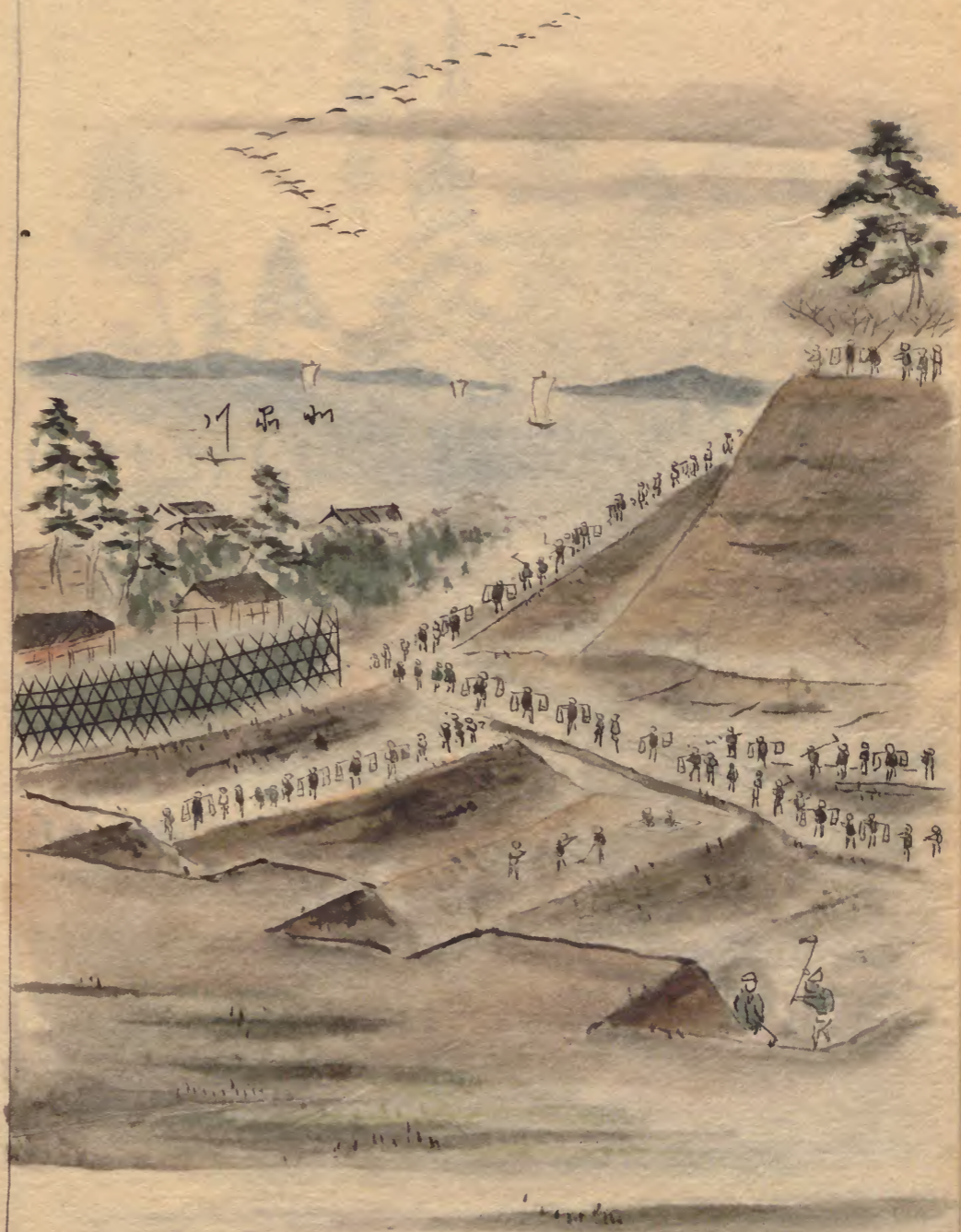
此所ノ土ヲ取テ
新ニ築クトヨノ
御臺場ヘ運フ



此後、則、櫻樹ノ
アル所ナリ



向フヘ差
ワタシニ
所モアル
ヘシ



伊高新造所船丸之趣

物立平西ノ水押水大押迄

一長坂乃百五十人守

内トモ外西ノ水押丸自守

長坂十七百一人守之

水押丸入押止二百五十守七分

水押丸入押止二百五十守七分

水押丸入押止二百五十守七分

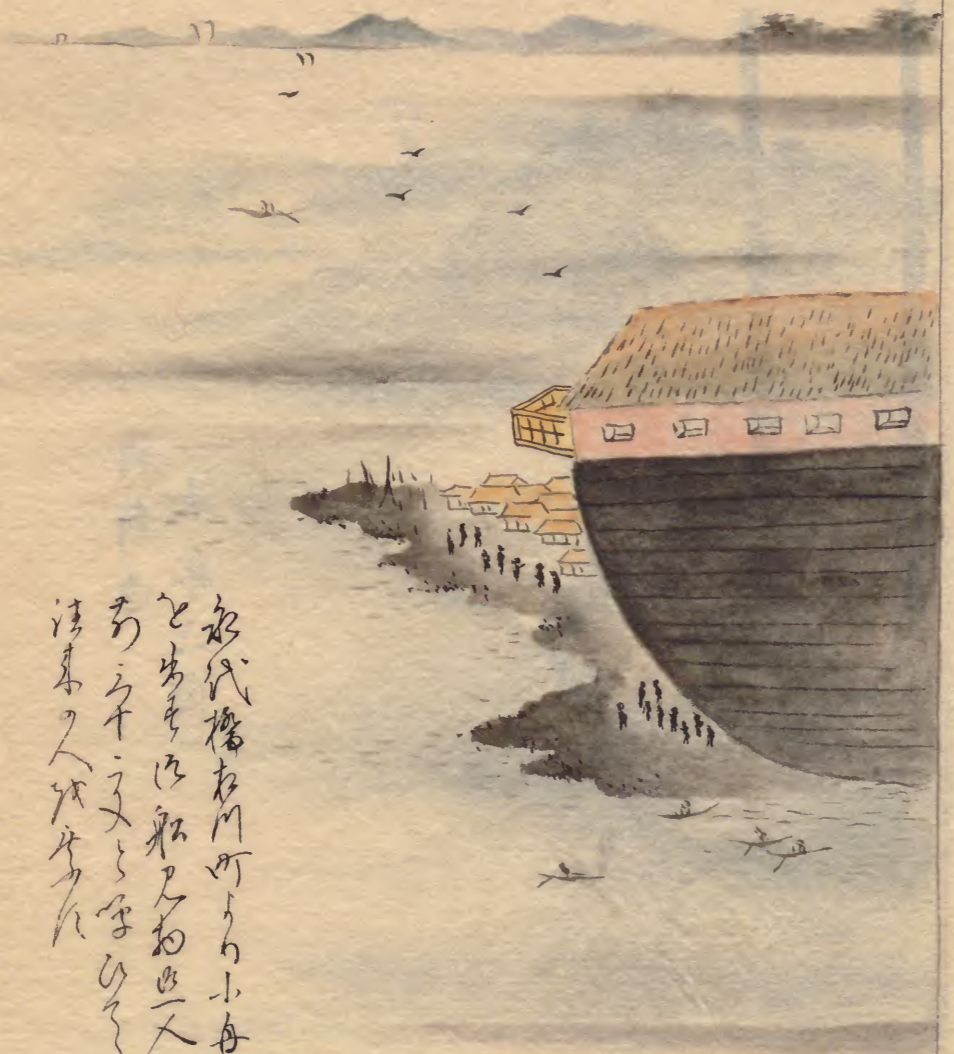
水押丸入押止二百五十守七分

長坂或後二百五十人守之分

寅十一月佃島
御新造大船
水卸回



水代播右門所より小舟
と出ると船は相出ん
ありて又と字ひき
法事の人代舟なり



浦賀

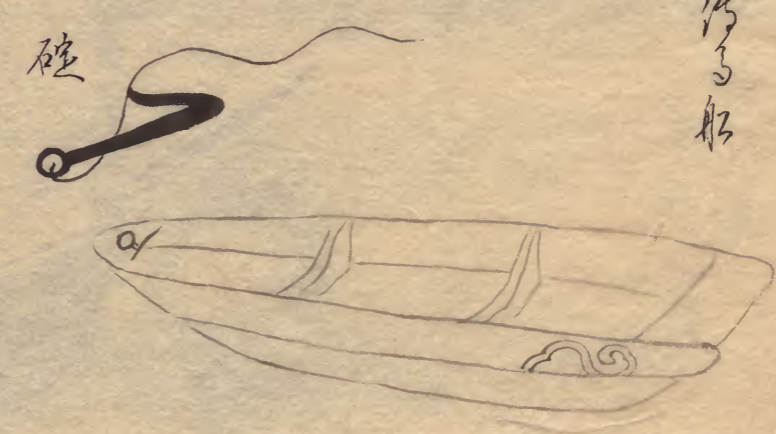
東

御
夕
イ
ハ

御新造
大船之図



浦
船
教
艘
ア
リ



碇

新造御船ノ図



上ハヤクラハ銅ハリ
 敷ヌリイタシ
 トモヤクニ銅板
 一枚ニ付
 此目百目ニ付

中ニ船硝藏アリ
 船体銅板ニテ振
 一枚長一尺余

中日斷
 厚三四分ハト
 此分
 凡千二百メ目ホト

七瀬長百十八間
 余太サ五寸廻リ

艦ヤクラ
 銅ハリ

上ハヤクラ

ハ分間

銅ハリ

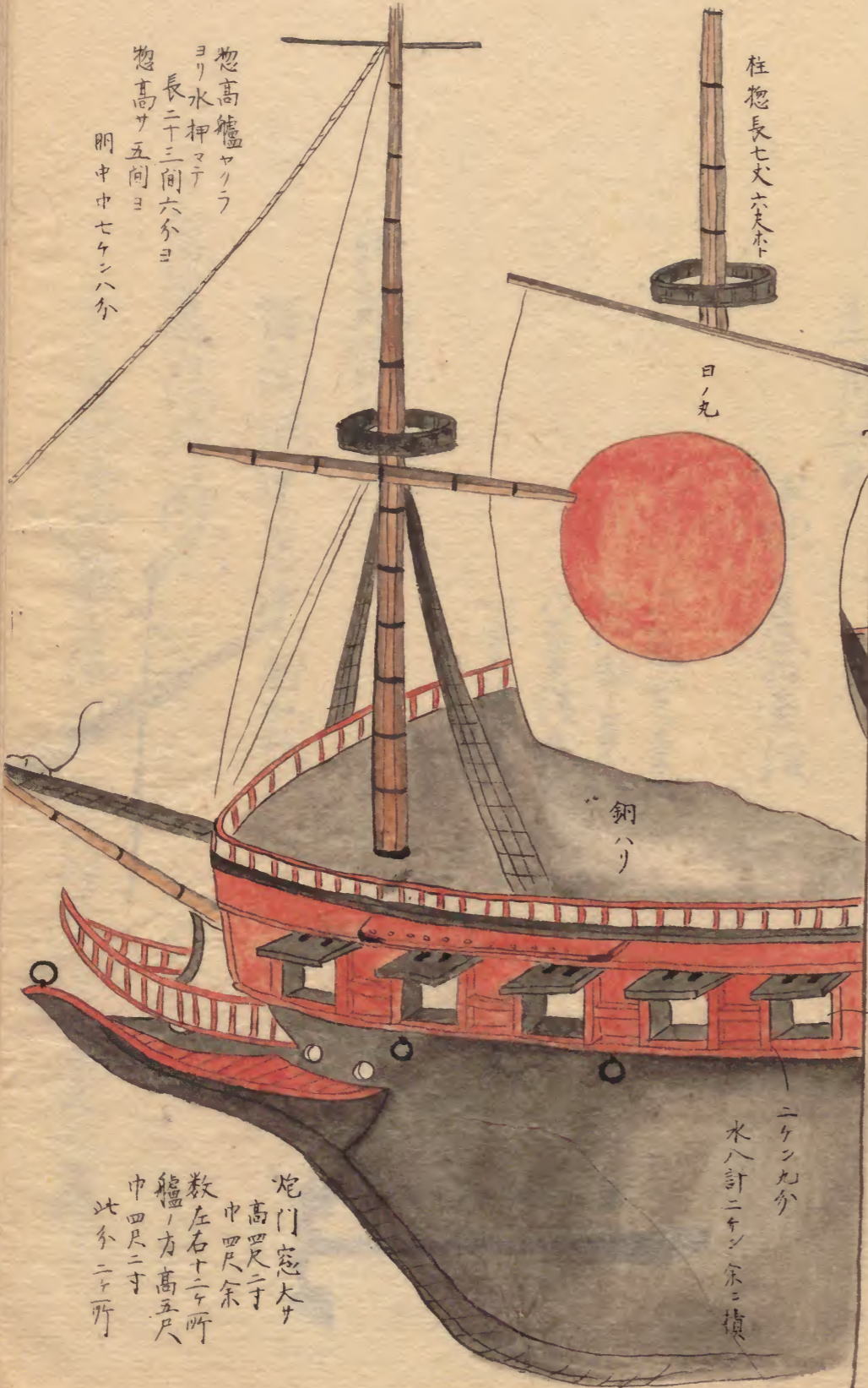
キヤマン窓長サ一尺ヨ
 厚サ三寸

黒塗ノケ所ハ惣件銅張一枚板
 長三尺中一尺五寸ヲ此目方一枚
 ニ付四メ目付ナラシニメ八百目
 付

但シ點塗
 下地布着
 堅固ニ付
 銅板メカケ
 五万メ目余

此分ニテ所

惣高艦ヤクラ
 ヨリ水押マテ
 長二十三間六分ヨ
 惣高サ五間ヨ
 明中中七ケシハ分



柱惣長七丈六ホト

日ノ丸

銅ハリ

砲モンマト

ニケン丸分

水八計ニケン余ニ積

砲門窓大サ
 高四尺二寸
 中四尺余
 教左右十二ケ所
 艦ノ方高五尺
 中四尺二寸
 此分ニテ所

十二月二日

伊勢守殿御覽

口齒定奉行
口地奉奉行
口普請奉行
口普請奉行

佛地洲築地

堀内海内中庭發

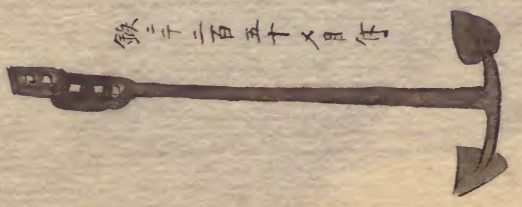
筋邊口外町地

此三方地標河内方拂東三方地標河内方標



碇

録二百五十八日付



馬谷山の外防地

右に新てけ交新規儀武場口を建し後付武蔵督古
場快炮角場口を建首に小隊一延引亦申来し格は後申
出るに之を言建方亦申向に中一後中邊口普儀申来し
格に申来申し

神岡場口の外

一、場口の外防地

右に近き方を備付しは場口は如向後一、場口の外防地
格あり一方一樓園に諸家并に藩下一面に備戦調練均す

は取し離子格あり一方に假横に言場地言是又諸向調

場所は取し離子格あり一方に假横に言場地言是又諸向調

督百申来し格に枝首は格も出るに言場所を建方申

向に言に中一防地也 申候は除防地一申し付所を建

向に言に中一防地也 申候は除防地一申し付所を建

一申し口入用にお掛し格も垣も二面皆素に申来し格に申

斗し

右に通海防地目付お達し言に言意要綱に申し

寛二、月二日

三月十日山沖青新山河内浦田沖用品十日濟師
漏江屋源之浦方之方也

一 玉子 三万玉子

一 蜜梅 百果

一 鷄 七子好

一 家鴨 六百好

右十二日新物祝心... 一... 一... 一...

一 十二月十七日

一 口膳手也

松子系服黄池口用仕家也

子服也

梅樹於心

口知戸構

口以

口後重也口知戸及

口津上浦也

皆沖月見

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

五月十八日

皇院書院

尚友

松平伊藤

同日

皇院書院
御用
松平伊藤

松平伊藤

御用

右美濃守御用

御用

右記... 懐紙一枚
高上
口内
香山堂

日以并...

右記... 懐紙一枚

口内

口内

田中

口内

口内

力石

日以并...

日以并...

右記... 懐紙一枚

口内

伊庭

日以并...

右記... 懐紙一枚

口内

伊庭

日以并...

十二月十九日

附版二

柳生對馬守

口細湖は古子池也其地...

右記文書は中列在相家...

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

十二月廿日

池田橋原の於口及び相...

Main handwritten text on the left page, continuing the narrative or report.

寛政十二年四月廿日

御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付

御書付

御書付

御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付

御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付

御書付

御書付

御書付

御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付 御書付

菅原正房

菅原正房

口流

月日枚先

菅原正房

菅原正房

菅原正房

菅原正房

菅原正房

菅原正房

菅原正房

二月

三月廿一日

御膳手

松平英敏等代用仕番御膳手

長谷川景元

西間記

御月見

太政官符 五畿七道諸國司

應以諸國寺院之梵鐘造大砲小銃

事

右正二位行權大納言藤原實萬宣奉

勅夫外寇事情固所深被惱

宸襟也况於緇素何有差異頃年墨夷再來

八相模海岸今秋魯夷渡來幾行近海國

家急務只在海防因欲以諸國寺院之梵

鐘鑄造大砲小銃置海國樞要之地備不

虞速令諸國寺院各存時務本寺之外除
古來名器及報時之鐘其他悉可鑄換大
砲為
天皇國擁護之器及邊海無事之時復又宜
陳銷兵器以為鯨鐘不存異議者諸國兼知
依宜行之符到奉行

權右中辨極上左衛權衛原朝判

權東大寺大長官四位中權輔殿顯左

大政大史小槻楯判奉
安政元年十二月二十三日

二月廿四日

支記部定

帳二十枚

付同庫之部

長崎奉行所用古物帳目

右記簿目
長崎奉行所用古物帳目
長崎奉行所用古物帳目

御座一冊没部

長崎奉行

水野元復

長崎奉行所用古物帳目

右記

御座一冊没部

日野の書

口書

水野の書

右記新書所記の事

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

三月十日の夜

水野の書

是後中絶フランス船日本へ一舟回航と云ふ所は
^ト船主と船中同乗者共三月十日中絶流れアメリカホ
ストンの船に助けられ同船に乗るに改名改一若り
け文フランス人送る紙一紙著るに作爲フランスキハウリと改
名し松尾ヘタデヤツト改名後長江の事業は若り諸島
島門船の事業又も猶船の事業は若り浦の事業は若り諸島
の事業は若り浦の事業は若り諸島の事業は若り

海軍防備部へ口用回答板
十二月

十二月

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

十二月廿日

水野龍溪

水野龍溪

海軍防備部へ口用回答板

長崎浦若下田宮殿松若若船若池口用回答板

中

若船若浦若下田宮殿松若若船若池口用回答板
船若若下田宮殿松若若船若池口用回答板
船若若下田宮殿松若若船若池口用回答板

先達の遺教を重んじ利如の海を音格別
書す
右の繪は伊勢の海

三月廿七日

同祖氏

右の繪は伊勢の海
中後

差綴事以史記

調役

江戸幕府

諸色
名

御前代河人下家前海上也新親手是年在集文

お花の又と道地事智多し一と云ふは心ありけり河段入と云ふ
し言也如可也すしと云ふは心ありけり

右通後河段入可也後河段入と云ふ

十二月廿七日

十二月廿七日

五段事

橋脚石

口筋定字体段

村道事

松前蝦夷地并魚化東西海岸見分外以用

指別精入骨打古筋山付

右新芙蓉の石中列在和泉

會二枚
刺後十枚

會二枚
花

美綴筆の支配組順

河津之富

河調役

ある能之巻

口調定味方改役

青山

青山

口調定

福垣莫次郎

口調

口調目付

半山彌次郎

會二枚

支配組定

上川傳一郎

口調役

美口清之郎

美綴筆の支配組役

松本孫四郎

月三十五

松本殿前地系西記東海海見分之外口用

指別精入お前中付

右於口首筆初尾振頼中列位任職中後一巻度

相違り為度

白紙

宣紙

張十枚

日七枚

日五枚

口字增紙

口字增紙

宋國書

今川書

口字增紙

今川書

口字增紙

今川書

今川書

口字增紙

今川書

右紙

Blank page with faint bleed-through from the reverse side.

Blank page with faint bleed-through from the reverse side.

